

令和5年度さいたま市自治会電子回覧板モデル事業まとめ

コミュニティ推進課

○ 自治会電子回覧板モデル事業の概要

1 事業の経緯・目的

当事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による自治会活動が困難になったことが大きなきっかけとなって始まりました。令和3年度に市内の自治会を対象に実施したアンケートにおいて、自治会活動が制限される中で大変苦勞されている実態が明らかになり、特に情報共有に課題があるという御意見が多くありました。また、コロナ禍に限らず、自治会運営に関する課題として、自治会加入率の低下、役員のなり手がいないなどといった御意見がありました。

このような課題を、ICTを活用することで解決できないか、また、どのような支援が可能かを考えたところ、自治会活動に特化した専用アプリがあると知り、導入に向けた検討を行いました。アプリの選定については、すでに多くの自治会で運用されていることや自治会と一緒に開発して実証実験を行ったアプリであること、個人情報保護の観点から安全性が高いことなどの理由から、モデル事業として「結ネット」を導入することが決定しました。「結ネット」は、会員が回覧物を電子データで確認することができるようになるほか、会議の出欠状況も回答機能を使うことで自動集計が可能となるなど、自治会運営に必要な機能が搭載されています。さらに、「災害モード」に切り替えることで、自治会内での安否確認がアプリ内で行うことができるようになるなど、非常時に自治会で活用することができる機能もあります。

このような「結ネット」の導入により自治会活動のICT化が進むことで、自治会運営の負担軽減を図ること、またICTに慣れ親しんだ若い世代の自治会加入促進を目的に当事業を実施することとしました。

令和4年度は、自治会電子回覧板事業の本格導入に向けたモデル事業を開始し、2つの自治会にモデル自治会としてアプリを活用していただきました。アプリの機能を使うことで、今まで紙で回していた回覧物をいち早く発信することができ、受信者がいつでも見返すことが可能となったことや回答機能を活用して会議や行事の出欠確認が可能となったことなど、自治会運営に役立ったという御意見をいただきました。

このように、情報伝達における迅速性・記録性等が高まったことは大きな効果であるといえ、自治会電子回覧板は、自治会運営の負担軽減に寄与するものと考えました。

一方で、システム面や運用面に関する課題についても多く挙げていただきました。その中でも自治会の費用負担については大きな課題であり、報告会の参加者アンケートでも費用の面で導入に踏み切れないという声が多く上がっており、補助制度など市の支援が必要との御意見が多くありました。また、運用する管理者の負担への不安などの声もありました。ID管理や発信記事の妥当性等の判断など、市の運用面での支援策も必要であると考えます。

このようなことから、令和5年度は、モデル事業を拡大し、10自治会で「結ネット」を導入・運用していただき、新たにメリットや課題を挙げていただくことで、より自治会のニーズに合致した自治会電子回覧板事業となるよう検証を進めました。具体的には、費用負担の課題を解消するための支援策を検討し、運用面での課題については、市が主体となって管理者講習会を実施しました。

2 モデル自治会

市内の自治会に一定の要件（すでに自治会内でICTを活用した取組が進んでいるか等）を付して公募した結果、自治会を選定しました。

（参考）令和4年度

<応募自治会内訳>

西	北	大宮	見沼	中央	桜	浦和	南	緑	岩槻	計
1	2	3	2	2	2	1	6	2	2	23

<選定自治会>

区名	自治会名	運用開始
南区	四谷一丁目町会	令和4年9月～
見沼区	東三番街自治会	令和4年10月～

令和5年度

<応募自治会内訳>

西	北	大宮	見沼	中央	桜	浦和	南	緑	岩槻	計
2	0	1	0	0	0	1	1	1	2	8

<選定自治会>

区名	自治会名	運用開始
南区	四谷一丁目町会	令和4年度から引き続き
見沼区	東三番街自治会	令和4年度から引き続き
西区	中野林南区自治会	令和5年8月～
西区	宮前町一丁目自治会	令和5年8月～
大宮区	天沼台みな月会	令和5年8月～
浦和区	浦和高層団地自治会	令和5年8月～
南区	東中尾自治会	令和5年8月～
緑区	東浦和住宅自治会	令和5年8月～
岩槻区	エクレール岩槻自治会	令和5年8月～
岩槻区	柏崎原自治会	令和5年8月～

3 事業実施期間

令和4年9月10日から令和6年3月31日まで

○ 令和5年度モデル事業実施結果

1 モデル自治会結ネット利用状況（令和6年3月末現在）

自治会名	総世帯数 ※1	利用世帯数	導入率	ログイン 数	ログイン率 ※2
四谷一丁目町会	470	153	33%	136	88%
東三番街自治会	191	108	57%	123	90%
中野林南区自治会	220	77	35%	77	91%
宮前町一丁目自治会	484	18	4%	14	78%
天沼台みな月会	192	102	53%	116	94%
浦和高層団地自治会	580	16	3%	10	63%
東中尾自治会	280	113	40%	102	82%
東浦和住宅自治会	280	55	20%	57	92%
エクレール岩槻自治会	500	12	2%	11	92%
柏崎原自治会	323	69	21%	53	76%
合 計	3,520	723	21%	699	87%

※1 令和5年4月1日現在

※2 利用者数に対するログイン数の割合（利用者数：1世帯で複数人が利用している場合があるため、総世帯数とは異なります。）

自治会名	記事発信件数(全員向け記事のみ)							
	行事予定	連絡事項	地域安全	役員会	各種資料	問合せ	回覧板	合 計
四谷一丁目町会	11	18	60	8	4	12	114	227
東三番街自治会	2	88	102	2	7	16	84	301
中野林南区自治会	1	1	0	0	1	0	0	3
宮前町一丁目自治会	14	10	1	19	0	0	1	45
天沼台みな月会	5	0	0	0	0	0	48	53
浦和高層団地自治会	0	0	2	0	0	1	0	3
東中尾自治会	0	3	0	0	4	0	5	12
東浦和住宅自治会	8	4	0	2	2	0	1	17
エクレール岩槻自治会	1	0	0	0	0	0	0	1
柏崎原自治会	3	4	0	4	0	0	0	11
合 計	45	128	165	35	18	29	253	673

2 自治会電子回覧板モデル事業管理者講習会 (全3回実施)

日時：第1回 令和5年 8月31日(木) 18時30分～20時00分
第2回 令和5年11月24日(金) 18時30分～20時00分
第3回 令和6年 2月28日(水) 18時30分～20時00分

会場：大宮区役所 4階 401会議室

概要：各モデル自治会の運用面における課題解決を図るため、協議や意見交換を行うもの

参加者：モデル自治会長及び管理者、市コミュニティ推進課職員

主な議題

- ・結ネット連絡網について
- ・さいたま市自治会電子回覧板事業運用支援方針について
- ・普及案内ちらしについて
- ・スマホ講座の実施について
- ・市の情報発信について
- ・令和6年度費用について
- ・令和6年度の契約方法等について
- ・能登半島地震における結ネット活用事例について

主な意見：

〈効果について〉

- ・細かい情報の発信が可能となった。
- ・紙媒体で回覧を回すと情報の伝達が遅かったが、電子であれば即時伝達が可能となった。
- ・一部の班で紙回覧は無くなった。

〈運用について〉

- ・紙媒体での回覧は併用している。
- ・結ネットの普及を広げるため、普及啓発ちらしの回覧のほか、アプリのダウンロードの仕方やログイン方法についての一般会員向けの説明会を実施した。
- ・会長が変更になった場合でも、引続き電子回覧板を続けられる仕組みを作ることが必要。役員ではなくなっても電子回覧板担当として関わっていく等。
- ・スーパーのちらしを結ネットで回覧したが賛否があり、現在は行っていない。
- ・公民館だより、小・中学校だより等の発信を市や区から行えないか
⇒公民館だよりは令和6年1月から各区から発信を行うこととなりました。学校だよりについては、各校の判断により公開・非公開が分かれること、また更新時期も異なることから、学校の発行者の異動なども考えると、市としても統一して配信することが難しいため、各自治会での個別の対応をお願いしたいと考えています。

- ・役員以外のメンバーでもグループを作りたい。
⇒例えば祭り用のグループや餅つき大会用のグループなどのアイコンを作成して作ることが可能。
- ・スマホに不慣れな高齢者の方への普及が心配である。
⇒ご希望があったモデル自治会を対象に、さいたま市によるスマホ講座を開催しました。(令和6年1月～2月：全2回)

3 モデル自治会アンケート

実施日：令和6年3月12日(木)～3月19日(火)

対象者：①モデル自治会管理者

②モデル自治会一般会員

- ・市のホームページアンケート機能により回答
- ・各回答の集計結果は、百分率で表示
- ・百分率は、総数n値(回答数)＝84に対する各回答実数の比率

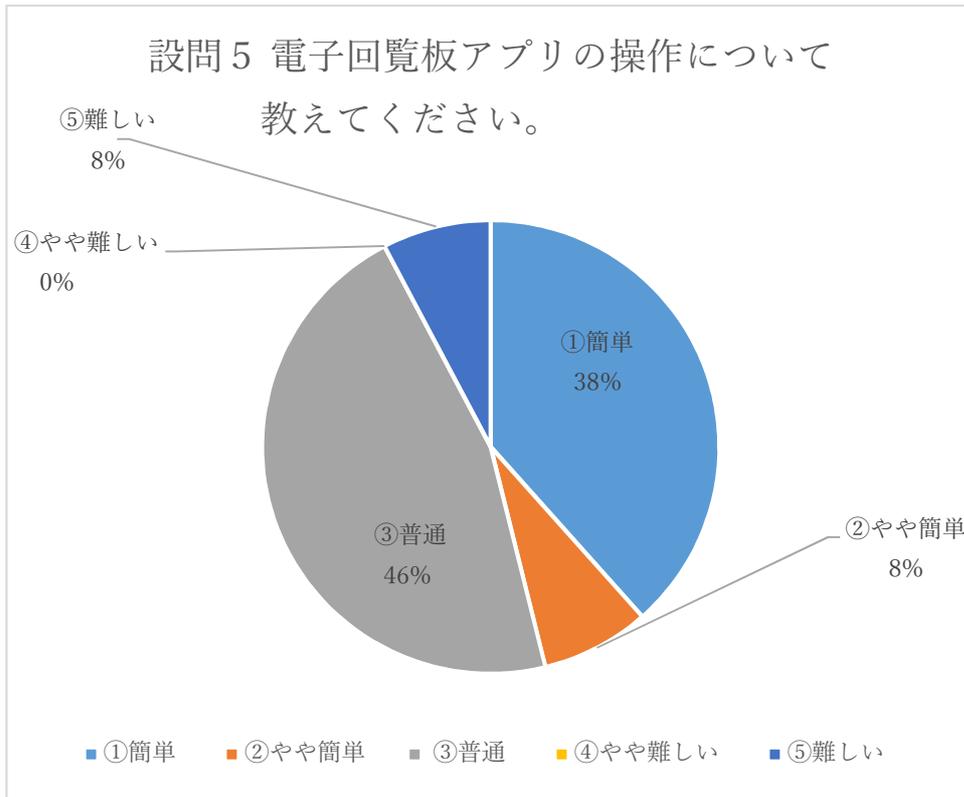
【管理者向け】

設問1 自治会名を教えてください。【略】

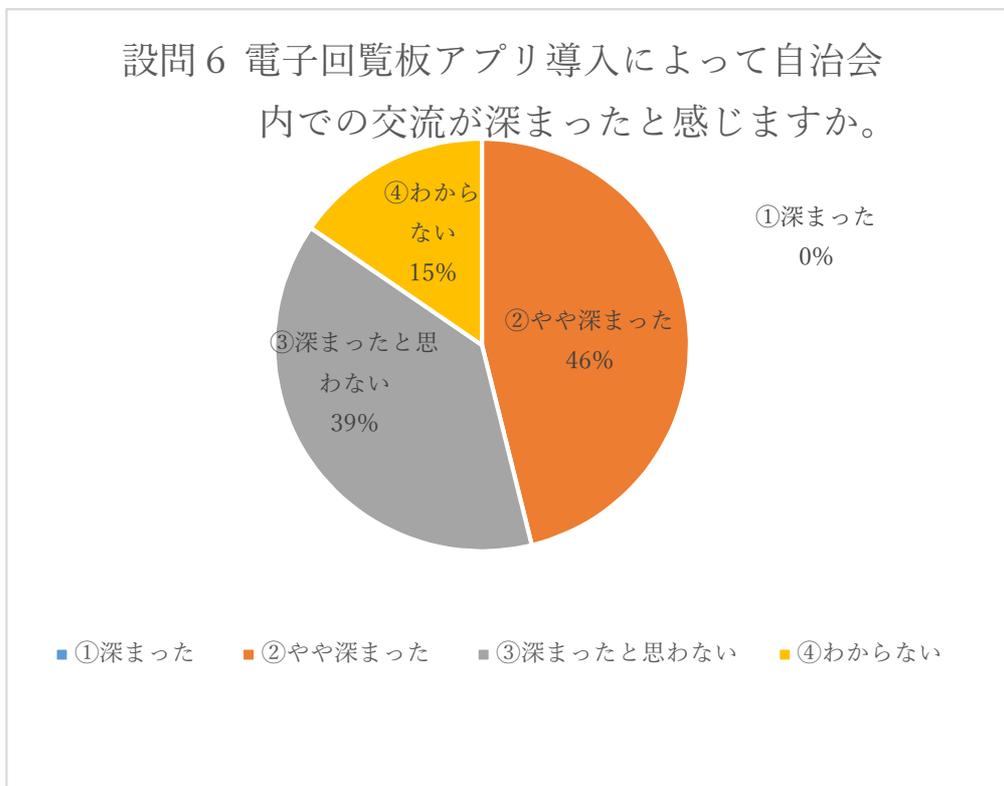
設問2 年齢について教えてください。【略】

設問3 同居の家族の人数について教えてください。
(御自身を含めた人数)【略】

設問4 家族で、あなたの他に電子回覧板アプリを利用している人数を教えてください。【略】

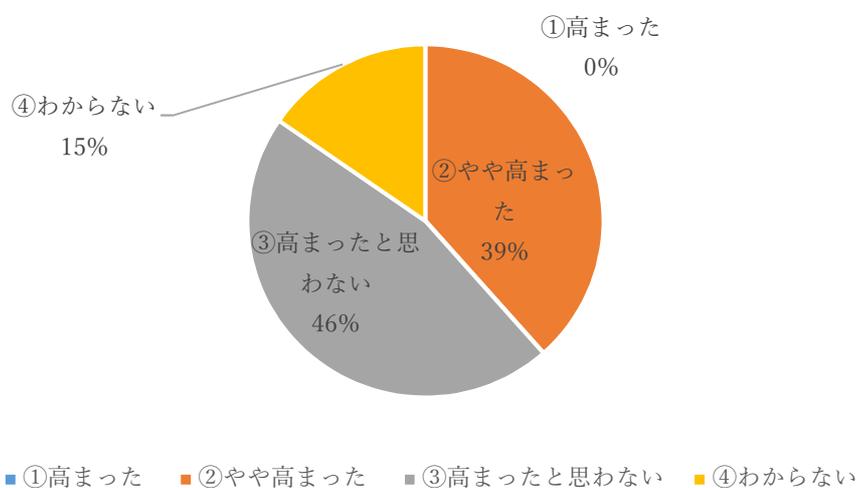


操作については、「簡単」が38%、「やや簡単」が8%、「普通」が46%でした。「難しい」「やや難しい」は8%であり、管理者として操作を行う上で、使い勝手は概ね良好と言えます。



自治会内での交流については、「やや深まった」が46%に対し、「深まったとは思わない」が39%、「分からない」が15%。「深まった」は0%。今後はより効果的な活用事例を情報共有するなど、運用の支援が必要だと考えます。

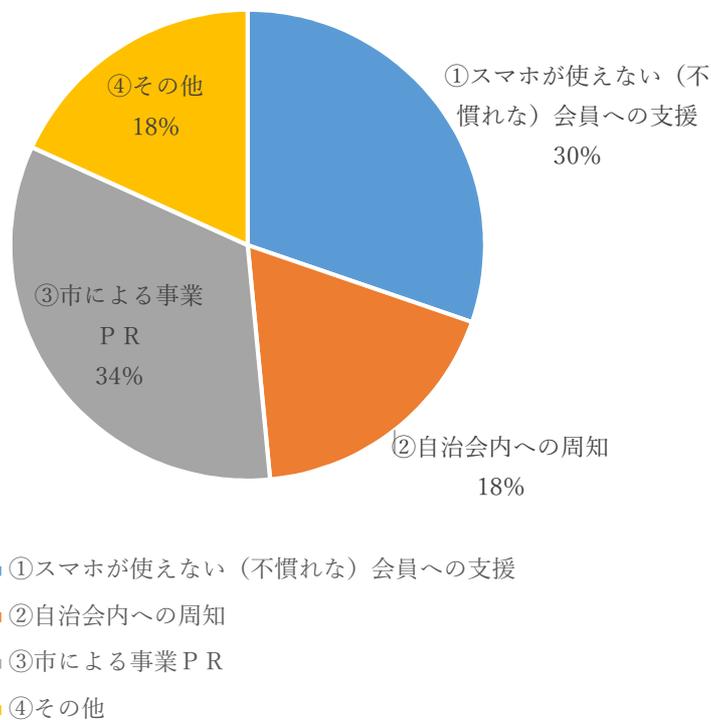
設問7 電子回覧板アプリ導入によって自治会員の自治会活動への関心が高まったと感じますか。



自治会員の自治会活動への関心については、「やや高まった」が39%に対し「高まったと思わない」が46%、「わからない」が15%、「高まった」は0%。

「やや高まった」が39%であることから電子回覧板が好影響を与え、一定の効果があつたといえます。一方、「高まったと思わない」理由については、一般会員アンケート結果も同様に、今後検証が必要であると考えます。

設問8 アプリ導入世帯を増やすにはどのような工夫が必要と考えますか。
(複数回答)



「④その他」の主なご意見

・世の中の全てのアプリにおいて、導入するには「興味」が必要だと思うが、残念ながら回覧そのものには興味を惹かれるような魅力は一切無い。当自治会でテスト導入した際も、メリットは出欠確認や電子資料の格納、対面する必要がなくなった、等は上がるが、「回覧が見れるようになった」というような回覧に関するメリットの声は聞こえてこない。まずは、そもそも多数の人が見たいと思えるような回覧、資料作りをすることが、継続的に導入数や増やすことに繋がると感じる。

・市や区によるPRは勿論必須ですが、活用したメリット、しないデメリットを現場で共有する事が交換的だと思います。今、登録してはみたけど、と言う様子見の人達がリアルに感じられるメリットが打ち出せれば、拡張しそうな気がします。やろうとすると自治会内の管理者サイドが踏ん張る必要が出てきますが、改選と重なり不可能、と言うより誰もやりたがる人いないのです。その点は次の役員理事、管理者となる人達に申し送ります。ただ、取り組むスタンスはわかりません。

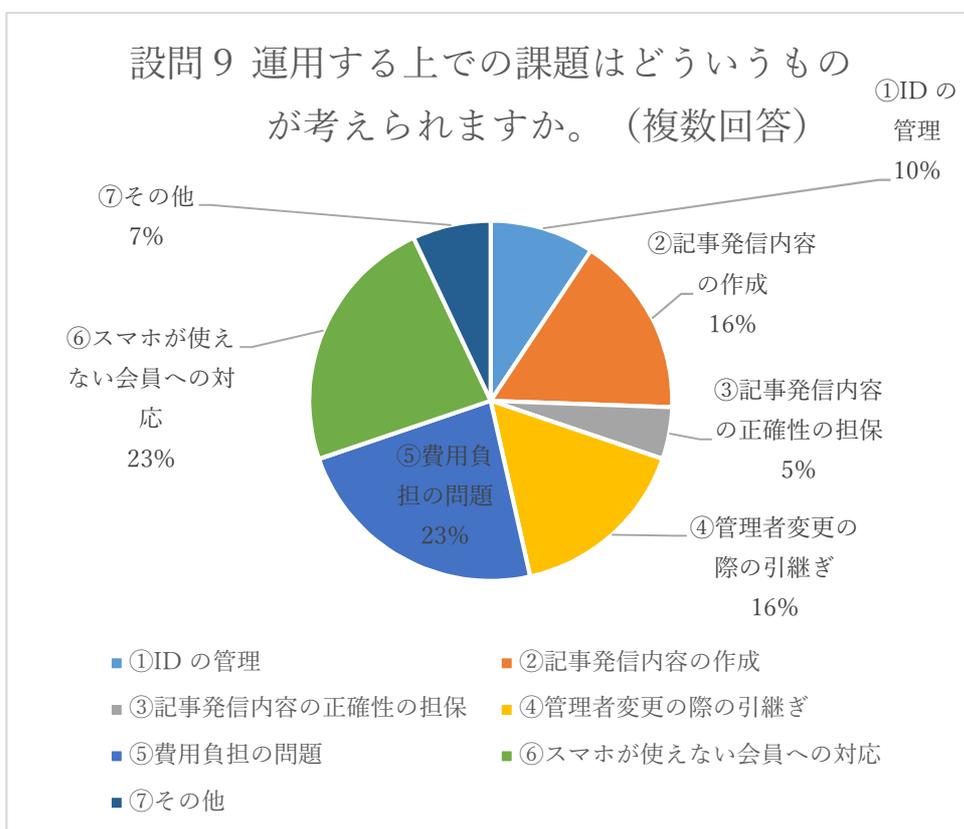
・さいたま市さんでも広報手段の一つとして使われているLINEの多機能さやFB、Xなどの気軽さに負けてしまいます。プッシュ通知はありがたいのですが、どうにかもう少し気楽に扱えるものになってくれると良いのですが・・・。

・1. スマホを持ってない、持っているが使いたくない人が高齢者に多いその人たちにスマホを使いなさいとは強制できないし、購入し渡すことはできない(時間が掛かる) 2. 従って自治会内で全世界帯が利用できるには、相当の時間がかか

る。3. アプリを導入したら効果が直ぐに出るとは当自治会では考えていない
 4. 従って紙の回覧と結ネットの両方が相当期間続くと考えている（自治会長と管理者次第である）

- ・さいたま市内の駅など、スマホ利用者が高いスペースでの告知。さいたま市以外でも広報活動を行うことで、注目を集めさせる。
- ・自治会費負担増となるような料金設定は避けていただきたい。

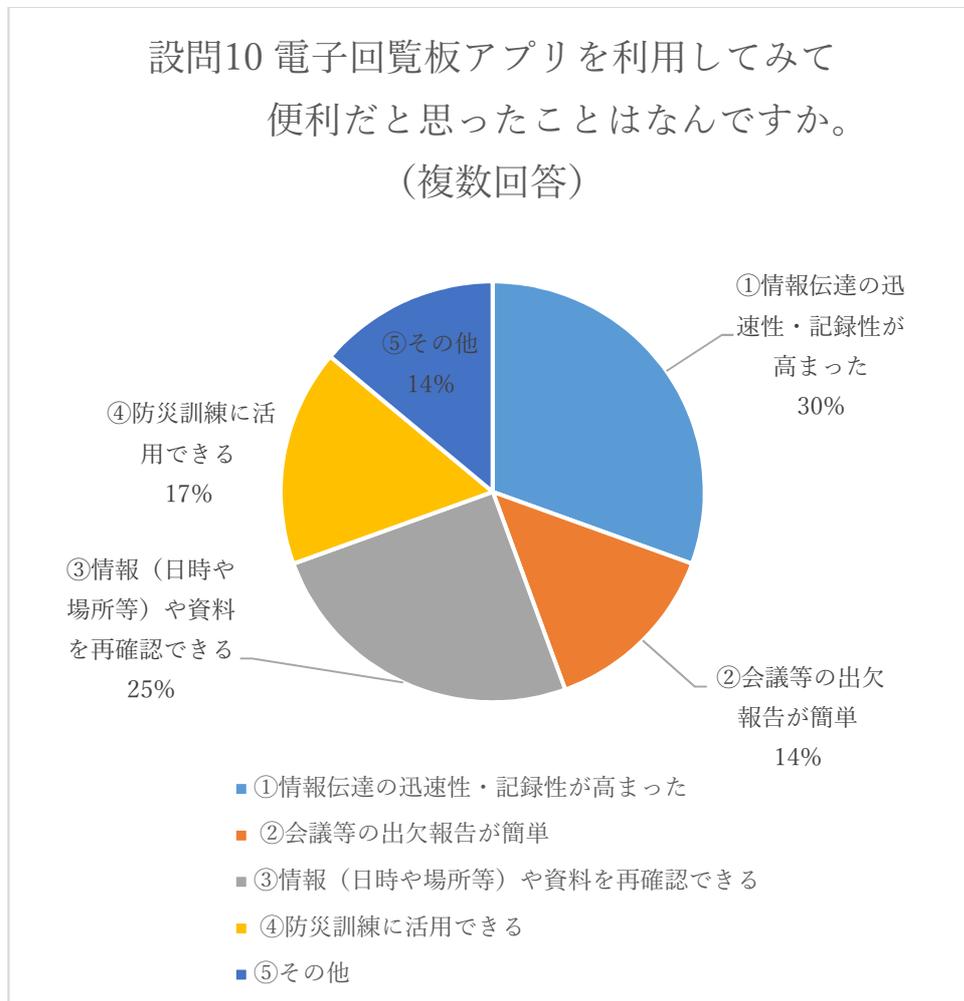
アプリ導入世帯を増やすための工夫については、「スマホが使えない（不慣れな）会員への支援」が30%、「市による事業PR」が34%となっており、管理者講習会で挙げられた御意見と同様に、市からの支援が必要であると強く感じられるものでした。今後は、引き続きスマホ講座を推進するとともに、より効果的なPRを行ってまいります。また、市から発信する回覧内容そのものについても、回覧作成所管課と情報共有を行い、より魅力的な資料を発信できるよう引き続き検討してまいります。



「⑦その他」の主なご意見

- ・管理者のみに負担がかかる。負担の軽減を考える必要がある。
- ・パソコン版の管理画面の機能の中途半端？な偏りが不便。パソコン管理画面の機能強化とインターフェース改善（最近触っていないので改善されていたらごめんなさい）
- ・これまでの自治会運営のように、時間がある時だけやって欲しい、というような簡単な勧誘が難しい。自治会長と近いポジションにすることや、インセンティブを付けないと後任が見つからないと考えている。

運用する上での課題については、「ID の管理」10%、「記事発信内容の作成」16%、「記事発信内容の正確性の担保」5%、「管理者変更の際の引継ぎ」16%、「費用負担の問題」23%、「スマホが使えない会員への対応」23%であり、「スマホが使えない会員への対応」と「費用負担の問題」が最も多く、ほとんどのモデル自治会で課題として挙げています。



「⑤その他」の主なご意見

- ・自治会規約や住宅内の班編成（地図）等の紙書類を結ネット内に PDF 化し保持ができ、スマホさえあればいつでも閲覧が可能になった。
- ・記録性が高まったと同義でしょうが、時間に追われず回覧を見ることができる点は大きなメリット。リマインドがかけやすい。
- ・ホームページでは出来ないプッシュ通知
- ・管理者にこの質問は愚問である。結ネットを採用しようとしている我々には、全て便利だから採用し拡大しようとしているのであって当たり前前に事に回答するのはいかがと思う。
- ・年配の不慣れな方も使ってみると良さを実感している。

便利だと思ったことについては、「情報伝達の迅速性・記録性が高まった」30%、「会議等の出欠報告が簡単」14%、「情報（日時や場所等）や資料を再確認できる」25%、「防災訓練に活用できる」17%であり、その他の御意見も含め、主に情報取得に係る部分で利便性を実感していただいています。

設問 1 1 電子回覧板アプリを導入した効果を教えてください。

※自由記載 例：紙の回覧がなくなった班があった 等

- ・紙の回覧板が不要の会員が少しだが増えたので、回覧板の廻るスピードが少し遅くなったかな?市の情報や自治会に関心は無いが、回覧板を廻す事が面倒なので?結ネットに登録した会員がいるように思える。
- ・紙の回覧板を回す軒数が減り、早く回るようになった。結果として情報のスピードが上がった。特定の班に紙が必要無くなった。出欠の報告を締切間際にできたり、途中で変更できたりなど、柔軟な対応ができるようになった。LINE やメール等を使わずに情報共有できる。
- ・まだまだ導入世帯が少なく回覧をなくすなどの効果はでていないが、1度災害訓練を結ネットで行った結果、興味を示した方が多くいた。防犯、防災の方向で結ネットの拡大を推進していく方向。
- ・市からポスター、回覧板がデータで配信される事は便利。早い全面移行が待たれる。
- ・回覧の即時性、掲示板の内容を手元で見られる利便性が高まったと考えている
- ・リアル回覧板の一部廃止
- ・まだ利用者拡大しようとしてる段階で、効果有無を論じる時期ではないと考える多数の人が利用するには、それ相当の時間がかかる。
- ・町会に若いメンバーが増えたことにより、紙の回覧が不要な班ができた。ただし、まだ高齢者が多くスマホアプリの全面普及には及んでいない。
- ・紙を無くしたいと希望する班があり、今後は回覧板無しの班が出てくる予定。

設問 1 2 今後の自治会電子回覧板事業に期待することは何ですか。

※自由記載

- ・自治会連合等の情報も発信して欲しい。
- ・市や区、関係機関などの情報がエリアに応じて自動的に流れるようになれば良い。
- ・当自治会は費用面で大きな課題は感じていないが、他の自治会ではかなり気にしていた。本当に導入を推進したいなら、数年は無料にして、さいたま市全自治会で導入テストを実施するような、思いきった策の方が、推進するにしてもやめるにしても、納得のいく結果になる気がする。思い切った策を期待したい。もう一点、LINE Works では自治会向けの無料プランもあるようで、緊急連絡等様々な機能も結ネットと同等と感じる。市が主導になり、結ネットに固執せず、様々なテストや比較選定を行って頂けることも期待したい。
- ・さいたま市より多くの告知を行ってもらい、自治会員に認知してもらいたい。
- ・是非、途中で頓挫しないで続けてください。そのためには補助金の付け方を考えるべきです。導入比率が高くなればなるほど、負担額が増える構図は逆進的です。一定の比率を超えたら、それ以上は負担が増えないようなモチベーションは欲しい。任意でも良いので、管理者講習会を続ける方が良いと思う。結ネットの事は

勿論の事、自治会の運営や行政や学校などとの関わり方など、様々な気付きがあるので、管理者の後任者にはありがたい場になると思う。

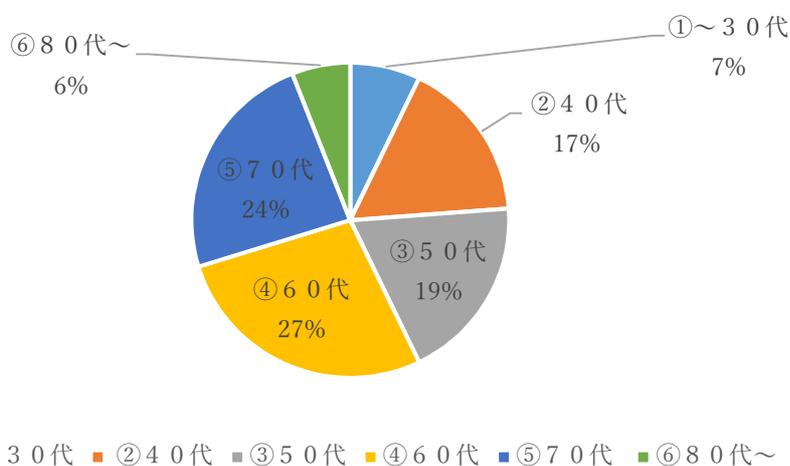
- ・運用維持に関する手間(管理者の引き継ぎなど)を簡便にする説明会や、他の自治会の成功例を住民に聞かせたい。
- ・自治会加入者の削減傾向、自治会消滅の危機を救う救世主
- ・当自治会では、利便性がある電子回覧板事業を全世帯で利用できる様展開する予定であるが、それ相当の時間をかけて徐々に広げていく予定である。又、利用料の減額も今後の課題と考えている。
- ・回覧資料の完全電子化：現在紙で配布される資料の電子化・閲覧グループの自由化：グループを自由に作成でき必要なメンバーが閲覧できる機能が必要・町会管理者からの広報（結ネットの紹介）だけでなく、市、区から大々的にアピールしていただくことで、認知度の拡大を期待する。：特に若い世代は、お墨付きがあれば導入の壁が低くなると考えられる。
- ・LINEと同じようなコミュニケーションツールにするなど、自治会用のアプリという位置づけからの脱却

【一般会員向け】

回答数：84名 回答率：約12%（84／723名）

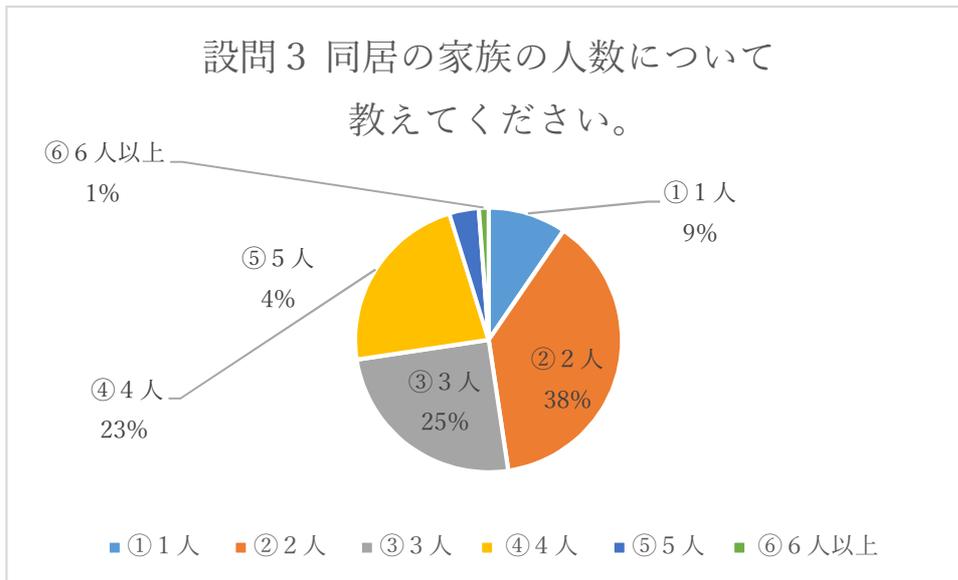
設問1 自治会名を教えてください。【略】

設問2 年齢について教えてください。

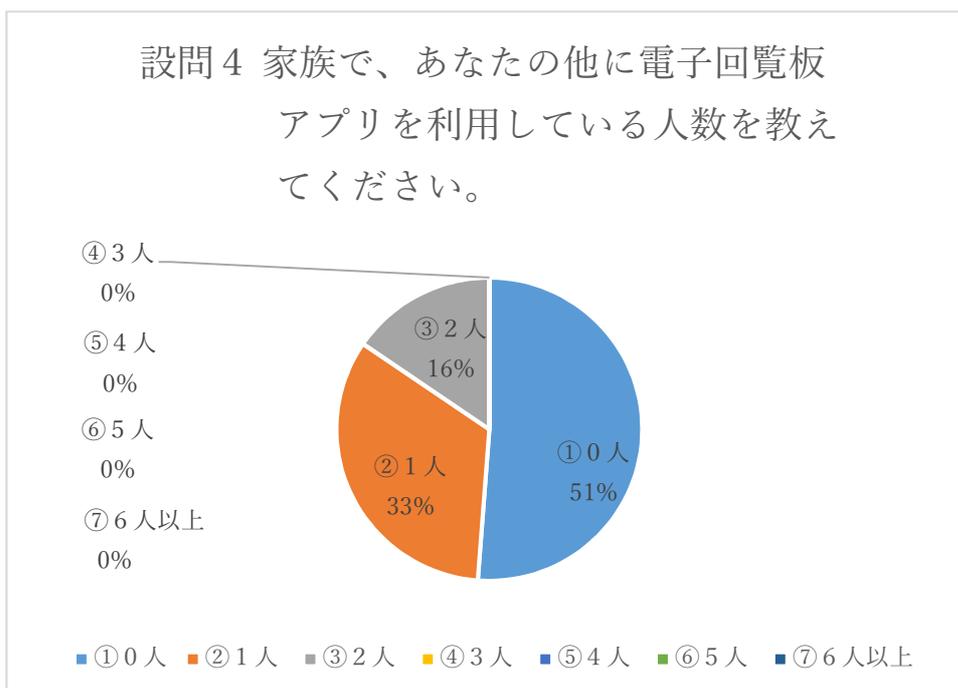


年齢については、いわゆる現役世代である50代以下の方が43%、60代以上の方が57%となっています。

自治会員の高齢化が進んでいると言われている現在において、本件では、利用者の4割以上を現役世代が占めていることから、スマートフォンに日ごろから慣れ親しんでいる若い世代に比較的受け入れられやすい特長があると考えられます。一方で60代以上も6割近くを占めており、幅広い世代に利用されていると考えられます。ただし、本アンケートに回答していない方々は、高齢の世代の割合が多いと推察できます。



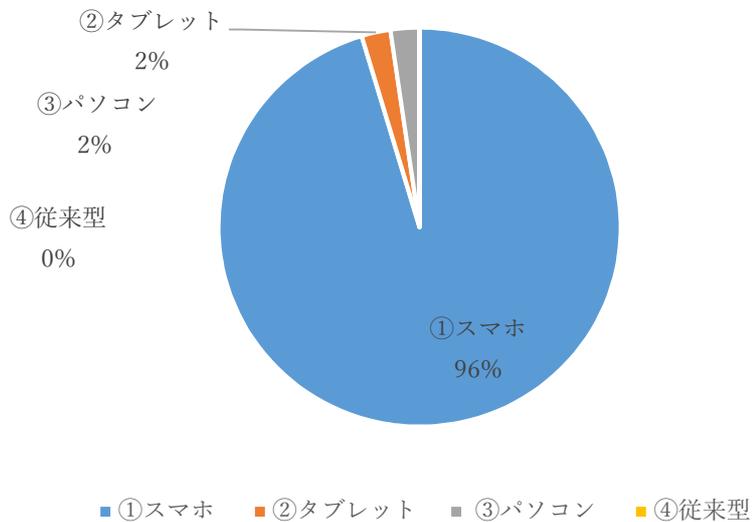
同居の人数から見た世帯については、複数人世帯が91%、単身世帯が9%となっています。



利用状況については、自身のみが51%、家族もご利用されているのが49%となっています。なお、その人数は1名ないし2名となっています。

本設問で、アプリを「家族もご利用されている」が49%に対し、設問3で「複数人世帯」が91%であることから、世帯主だけが利用しているケースと、家族も利用されているケースは拮抗していることがうかがえます。

設問5 あなたはどのような端末で電子閲覧
板アプリを利用していますか
(複数回答)

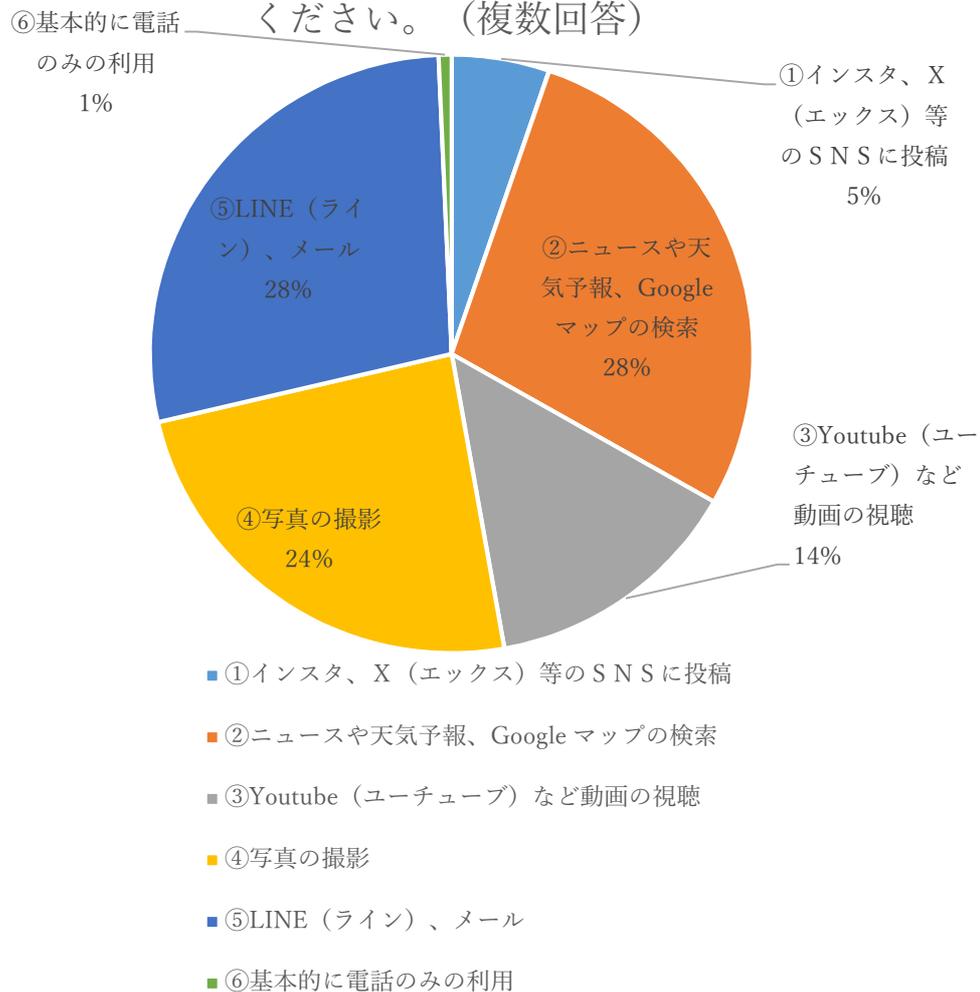


アプリを利用する端末については、「スマートフォン」96%。「パソコン」、「タブレット」が各2%。

ほぼ全員がスマートフォンを利用しており、パソコンの利用者は、全員がスマートフォンも併用していました。

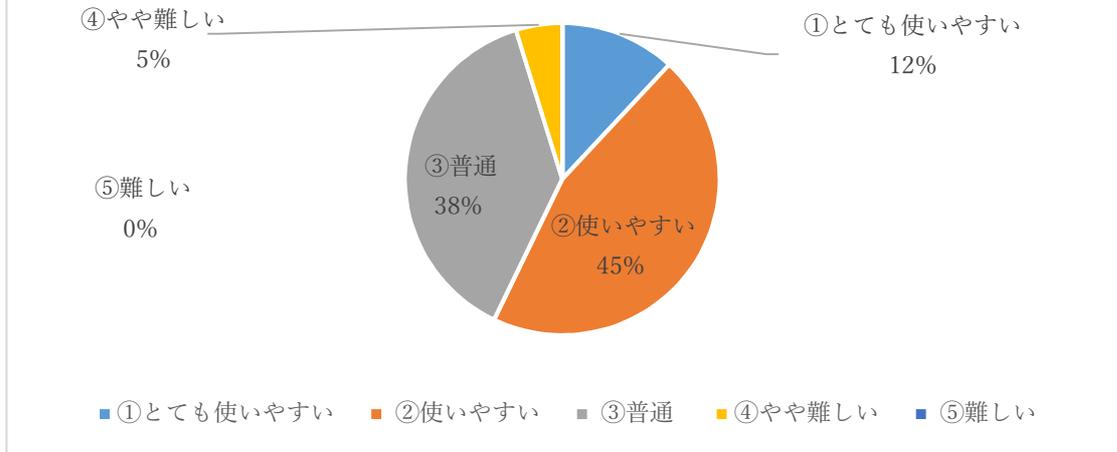
パソコンでは長い文章を作成すること、タブレットでは大きなディスプレイで閲覧記事や資料を閲覧するといった使用方法が得意であり、ほぼ全員が携帯性や利便性が高いスマートフォンを選択していると考えられます。

設問6 日頃のスマホ等の活用状況（電子回覧板アプリ以外）について教えてください。（複数回答）



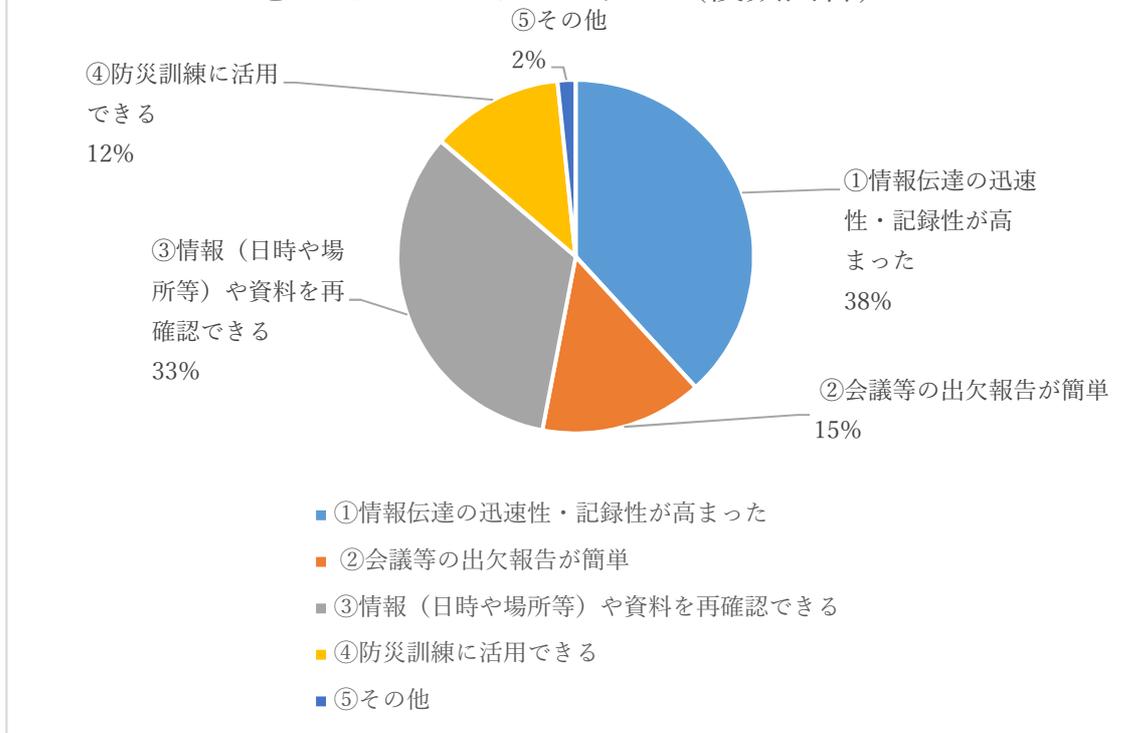
「インスタ、X等のSNSに投稿」は5%、「LINE・メール」「写真の撮影」といった機能を使う方は52%。「基本的に電話のみを使用」は1%となっています。SNSに投稿するなどスマートフォンを比較的高度に使いこなしている方は少数であり、多くの方は、写真・メールといったスマートフォンの基本的な機能を活用している程度となっています。このことから、電子回覧板アプリは、スマートフォンに関する高い知識を求めるものではないことが分かるものです。

設問7 電子回覧板アプリの使いやすさは どうですか。



使いやすさについては、「とても使いやすい・使いやすい・普通」で計 95%となっており、電子回覧板アプリの使い勝手は、概ね良好と言えます。一方、本設問で「やや難しい」と答えた方が5%いることから、引き続きスマホ講座の実施や、より使いやすいアプリになるよう業者への提言が必要と考えます。

設問8 電子回覧板アプリを利用してみて便利だと思ったことはなんですか（複数回答）



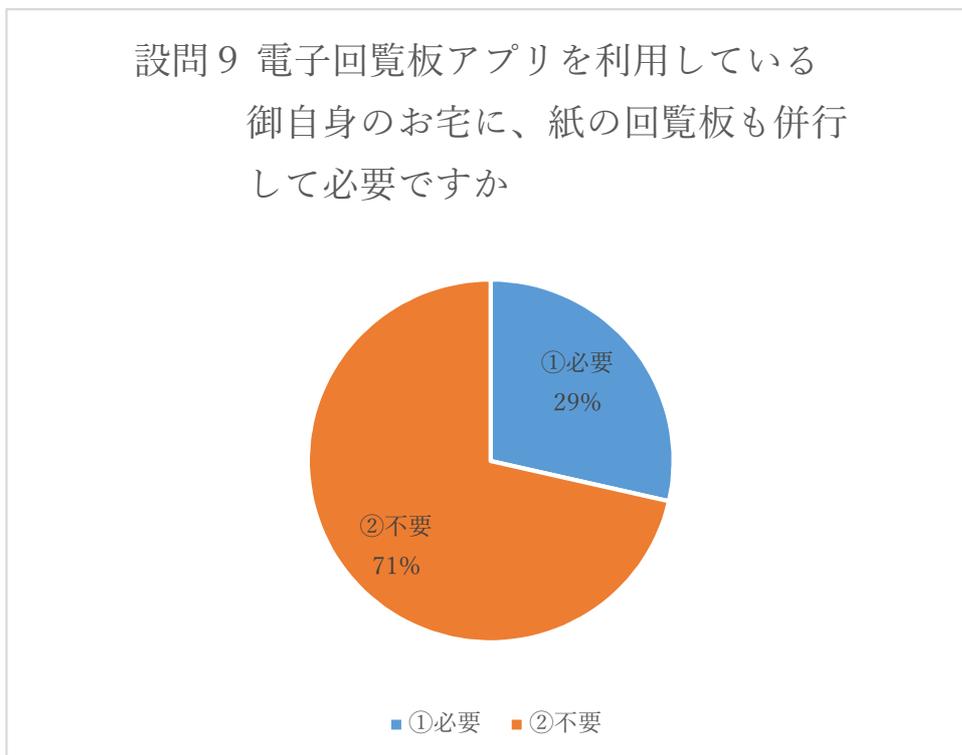
「⑤その他」の主なご意見

- ・出張先でも回覧が見られる。
- ・日中留守にすることが多いため、帰宅後に回覧板がポストに入っていると、さっ

と見て早く回さねば、と気遣いをしていたが、今は都合の良い時間に見られるのでかなり気が楽になった。

利用してみて便利だと思ったことについては、「情報伝達の迅速性・記録性が高まった」38%と「情報（日時や場所等）や資料を再確認できる」で33%となっており、主に情報取得に係る部分で利便性を実感していただいています。

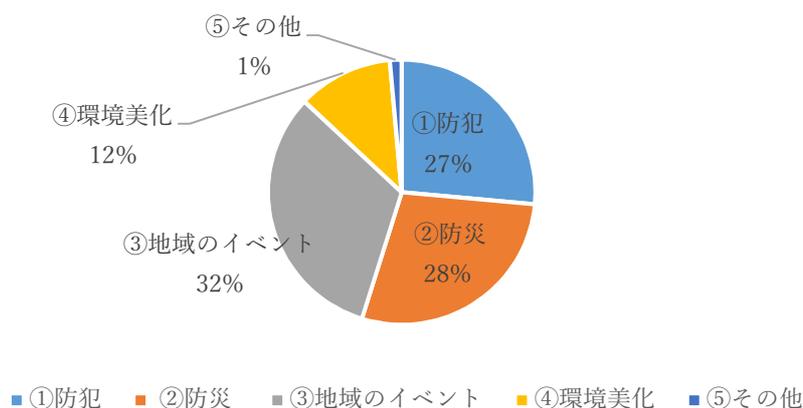
また、「会議等の出欠報告が簡単」15%、「防災訓練に活用できる」12%となっており、回覧機能以外の利用においても効果的であるといえます。



「紙の回覧板も併行して必要」が29%となっており、アプリを利用しても、対面でのコミュニケーションの重要性や紙媒体による視認性など、紙回覧の需要は一定程度あると言えます。

一方、「紙の回覧板は不要」が71%となっています。紙回覧は不要と感じている方への紙回覧の廃止は、不要と感じている方の負担感の軽減につながり、紙回覧を必要とする方にとっては、回覧板がより早く回ることが期待できます。ただし、紙回覧のルートの再考（1軒1軒の距離が延びる、不要な方と必要な方の区別の管理等）が必要となるため、ただちに広報担当者や班長の負担軽減、紙資源の節約に繋がるとは言えないと考えます。

設問10 どのような内容の記事に関心を持っていますか。(複数回答)

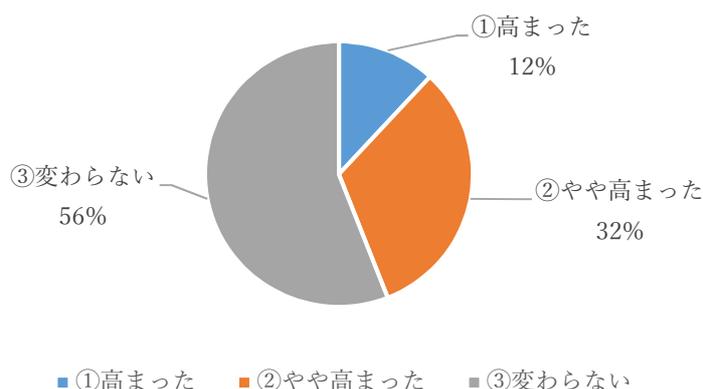


「⑤その他」の主なご意見

・シニアサポートセンターの情報

関心のある記事の上位は、地域イベント 32%、防災 28%、防犯が 27%となっています。全て自治会活動における重要な情報であります。回答に偏りはないため、全ての事項に関心が高いと言えます。

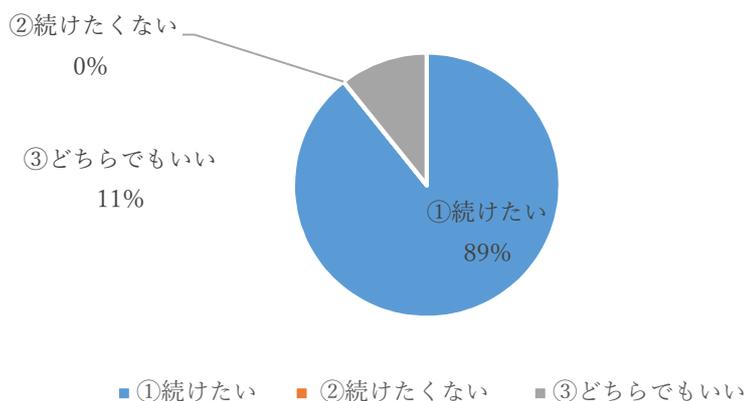
設問11 電子回覧板アプリの導入で自治会活動への関心は高まりましたか。



自治会活動への関心については、「高まった」「やや高まった」が 44%、「変わらない」が 56%となっています。

「やや高まった」が 4 割以上であり、電子回覧板の導入が好影響を与えたものと考えます。一方で「変わらない」の理由については、例えば、既にある程度の関心があったのか、又は情報の内容や発信方法について改善の余地があるのかなど、今後の検証が必要であると考えます。

設問12 今後も自治会電子回覧板アプリを使い続けたいですか



「今後も使い続けたい」が89%、「どちらでもいい」が11%。

「続けたくない」は0%であり、アプリの使用経験がある多くの方にとっては、自治会活動に必要な不可欠なツールとなったといえます。

「どちらでもいい」11%についても、設問7の「やや難しい」と答えた方の解消が進めば、「どちらでもいい」から「続けたい」にシフトすると考えます。

設問13 電子回覧板アプリを利用して見た感想やご意見などがあれば記載してください。※自由記載

- ・今までの回覧板だと留守をする時に、配慮が、必要だが、電子回覧アプリだと、簡単に留守にすることが、できて、他の人の迷惑をかけないのが、大変いいと思いました アプリ回覧は、大変便利で、回覧板は、必要ないので、必要とする人達だけで、迅速に今までの回覧ができるのが、いいと思いました
- ・情報など見直せる。
- ・迅速に情報を知ることが出来て便利 紙の回覧板を廃止にしても良いと思う。
- ・いつでも、どこでも閲覧ができ、回覧板と違い敏速さが良い
- ・基本料金がもう少し安くなれば良いと思います。
- ・紙回覧での対面でご近所との繋がりを感ずる。
- ・募金活動時等は、紙等回覧板等が必要。近隣住民との関係希薄化防止策の検討も並行して行う必要がある。
- ・慣れるまで難しいですね。防災訓練とても良かったと思います。真面目にやった方が良かったのか分かりませんが みなさんのコメントが楽しかったです。
- ・紙の回覧板と比較して、いつでも確認できる、隣家への回覧が不要等のメリットがある一方で、見落としやすい、見なくても隣家に迷惑がかからないので見ない可能性があるといったデメリットもあると思う。見落としやすい等のデメリットに対しては見えてない場合のリマインド機能の設定等もあっていいと思う。
- ・地域の子育てサロン、高齢者サロン、ダブルケアカフェなどの情報、またそういったサロンなどがボランティアを募集しているのならそれものせてもらいたい。
- ・アプリに慣れていない人ではまだ使いづらいただろうと推測します。 実際このア

アンケートへもどうやって回答するのか、はっきりとしたアンケートへのリンクボタンはなかったので、詳しくない人ではこのアンケートへの回答もできないのでは？ 使い始めの登録設定も、案内書と実際の操作、設定方法があってなかった。

- ・リアルタイム性、イベント出欠・集計機能など便利
- ・紙の回覧板は次へ回したら見れないが、いつでも見れるのが良い。
- ・わざわざチェックし次の御宅へ回す手間がない ところが大変便利 回覧の中にはこのようなものまで回覧する必要があるのか否か疑問のものもあったので(世話人様の手間なども)非常にストレスフリーだと思います
- ・ポップアップの受信が迅速で良いと思います。
- ・回覧板を回す手間がなくなって気が楽になりました
- ・回覧板を渡しに行く手間がかからない。とてもスッキリ。 いつ見ても良いので自由で良い。
- ・電子回覧板アプリをスマホで見ているが、画面が小さいのでパソコンで利用したいが方法がわからない
- ・市の情報は良い、会議の出欠、未読などの状況が分かって良い
- ・自治会ホームページとの使い分けが難しいです。結ネットは情報発信が一過性のため、一度発信した情報に更新や変更が入った場合の情報発信が無いです。
- ・メールは必ず見るが、アプリは見落とすことがある。
- ・当アンケートについての意見です。当アンケートの目的踏まえると、質問8とセットで『不便と感ずることやデメリットと思うこと』もアンケートで調査すべきと思います。
- ・電子回覧板を活用できる世帯は紙の回覧板はなくても良い。紙の回覧板が必要な世帯だけで回した方が早く回覧出来き、回答期限にも間に合う。以前はどこかで回覧板がとまり、自分たちの処に来たときには、イベント日の近々、または過ぎている時もあった。
- ・担当者が代わり、地域の情報の発信頻度が減った。担当者は各部から選出し何人かいると良いかもしれない。
- ・紙の回覧板を廻すことが無くなると、隣人と会話する機会が少なくなる、また回覧板を廻す家が少なくなると、かなり遠くの家まで届けなければならなくなるので、高齢者には負担になるのではないか？市や自治会からの一方通行だけではなく、自治会内での意見交換に活用出来ないだろうか？
- ・防災時での情報収集や、連絡用に準備しておくのはとても良い事だと思います。交番だよりや地区たより等、次の方に早く回すことが優先で、軽く見てすぐ回していましたが、後から見直す事も出来ます。

○ 総 括

1 成果

令和5年度は10のモデル自治会に拡大し、より多くの方から貴重なご意見を沢山いただきました。電子回覧板アプリの最大の特徴である「情報伝達における迅速性・記録性（いつでもどこでもスピーディーに発信・確認できる）」について、最も評価をいただきました。

多くの自治会が、運営負担の増大、高齢化に伴う役員の担い手不足、活動者の減少といった課題に直面しており、若い世代の自治会参加、自治会活動の負担軽減が重要になっています。電子回覧板アプリの回覧機能以外でも、会議等の出欠報告にも有効であるといった御意見もいただき、会議の運営者・参加者双方の負担感の軽減に繋がることが期待できました。また、アプリの利便性のみではなく、利用することにより自治会がより身近に感じられ、特に若い世代の自治会活動への関心が高まる効果もありました。今後はより幅広い運用方法によって、さらに自治会活動を活発化できることが期待できます。

2 課題と対策

運用面では、対面でご近所と繋がることのできる紙回覧の重要性も挙げられており、アプリを利用しても、紙回覧の需要は一定程度あるととらえており、運用が二重になることも懸念されます。今後は、回覧ルートの管理方法等について成功事例等を調査し、導入自治会と共有する必要があると考えております。また、自治会担当者によって発信件数が異なるといった御意見がありましたが、1人に負担が集中することがないように、複数人でアプリの管理運用を行うことが重要です。その際は必ずしも特定の方々だけが担うのではなく、若い世代や一般会員も含めたより多くの力を借りることで継続しやすい安定的な運用につながると考えます。また、電子回覧板アプリは利用世帯が増えるほど効果的であるため、より多くの会員に活用していただくための利用促進を図ることが重要です。各自治会の回覧でのPRやスマホが得意ではない方への講座の実施について、引き続き支援を行ってまいります。自治会が扱う情報については、今後利用者の増加に伴い、特に利用マナーに関する課題が生じることが懸念されます。利用方法は各自治会にて確立されていくものですが、最低限守るべきマナーや基本的な運用方法などに関するガイドラインを策定してまいります。

特に管理者から多くの御意見をいただいた費用負担の面に関する課題に対しては、アプリ業者との交渉にて、単価の区分のうち、最低単価とし、令和6年度は初期設定費用の1/2の補助金33,000円を交付することを決定しております。

3 自治会電子回覧板アプリの本格導入について

令和4年度、5年度のモデル事業をふまえ、令和6年度は本格運用を開始します。令和6年度は100自治会で「結ネット」を導入・運用していただくことを目標としています。令和6年4月から5月に募集を行い、令和6年6月29日にアプリ操作全体説明会を実施する予定です。ただし、募集期間を過ぎても、随時申請を受け付けることとしますが、電子回覧板アプリに興味があっても、すぐに導入に踏み切れないという場合が想定されます。その際は安心して導入いただけるよう、テスト

I Dを使用することで、運用のイメージをつかんでいただきます。

終わりに、各モデル自治会からいただいた様々な御意見・御要望をふまえ、今後も継続してアプリ業者と連携しながら、自治会の方々が安心して活用できる便利なアプリになるよう努めてまいります。